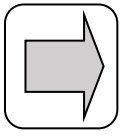
徳島県内経済情勢報告

令 和 ７ 年 ７ 月

財　　務　　省

徳 島 財 務 事 務 所

徳島県内経済情勢報告

	令和７年４月判断	令和７年７月判断	総括判断の要点	４月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している 【３期連続据え置き】	個人消費は、観光が回復しているほか、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアで堅調となっていることなどから、全体としては緩やかに持ち直している。 生産活動は、木材・木製品が弱い動きとなっているものの、化学が緩やかに回復していることから、全体としては持ち直しつつある。 雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。	

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策効果が緩やかな持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響や、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響など、景気を下押しするリスクもある。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

項目	令和７年４月判断	令和７年７月判断	４月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している　【３期連続据え置き】	
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある　【６期ぶり上方修正】	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある　【５期連続据え置き】	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
設備投資	６年度は前年度を下回る見込み	７年度は前年度を上回る見込み	

※　７年７月判断は、前回７年４月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

<u>個人消費</u>
緩やかに持ち直している

○百貨店・スーパーは、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。

○コンビニエンスストアは、飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

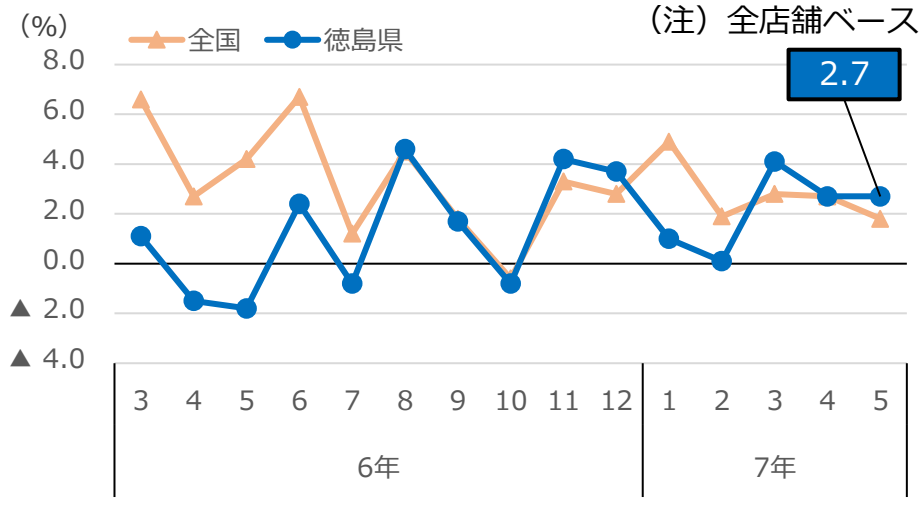
«百貨店・スーパー»
○物価高による商品単価の上昇が売上増加に寄与しているが、買上点数は減少している。特売日やポイントデーに消費が集中する傾向がより顕著になっており、節約志向は続いている。

○野菜はばら売りや小単位での購入など、必要分をお得に購入する傾向がみられる。

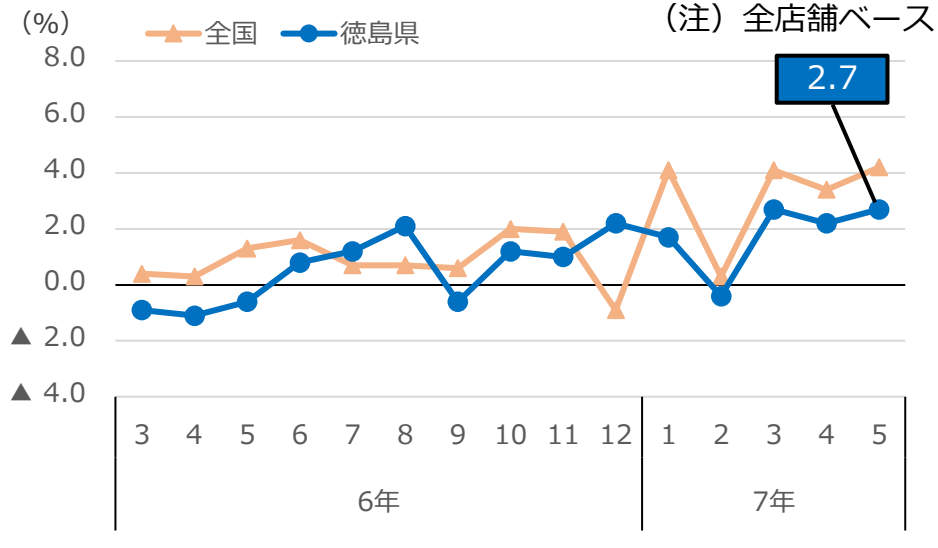
«コンビニエンスストア»
○おにぎりは値上げの影響を一時的に受けながらも、足下の売上げは好調となっている。

○気温変動の大きさが影響し、ペットボトル飲料が好調。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

○ドラッグストアは、冷凍食品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。

○家電大型専門店は、エアコンに動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

○ホームセンターは、季節商品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

○乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年同期（４－６月）を上回っている。

○観光は、外国人観光客が増加していることから、回復している。

○旅行は、国内旅行は緩やかに回復しつつあり、海外旅行は緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

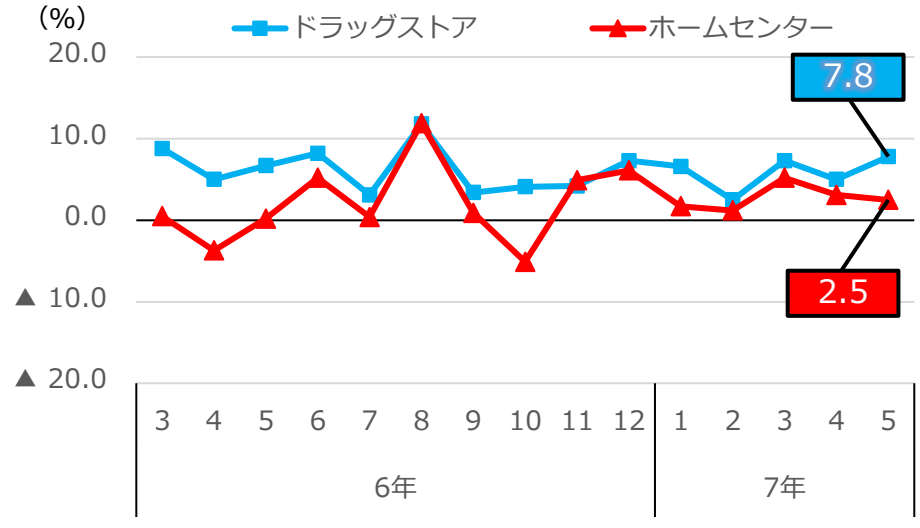
«家電大型専門店»
○気温上昇に伴い、エアコンの売行きがよい。省エネ性能モデルや自動掃除機能付きなどのハイスペックのものが選好される傾向は変わらない。

«観光»
○クルーズ船の寄港により入込客数が増加しており、インバウンドの好調が続いている。

«旅行»
○国内旅行は万博関連商品に動きがみられる。海外旅行は定期便により韓国行が好調。

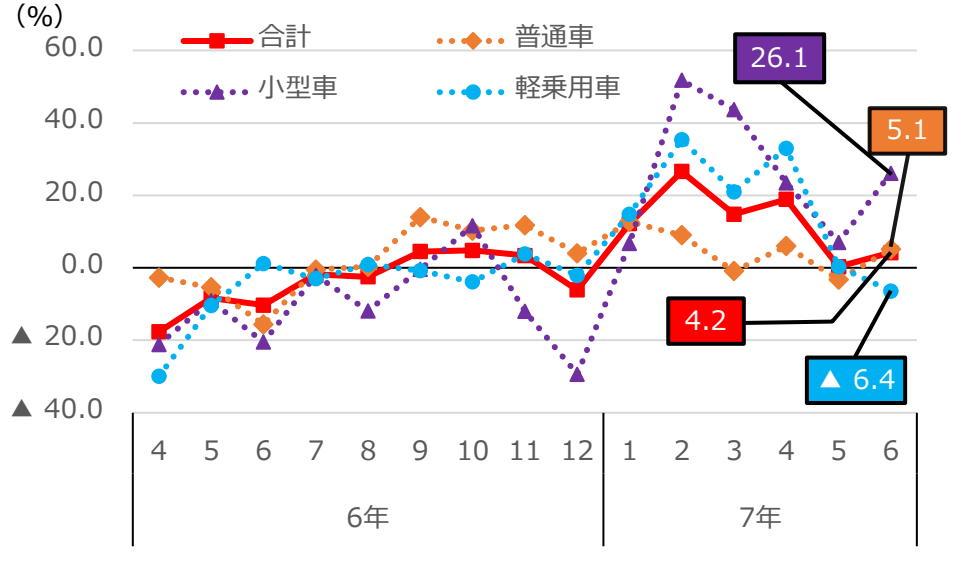
〔徳島県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



【出所】　経済産業省、四国経済産業局

〔徳島県の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出

生産活動

<u>生産活動</u>
持ち直しつつある

○化学は、緩やかに回復している。

○木材・木製品は、弱い動きとなっている。

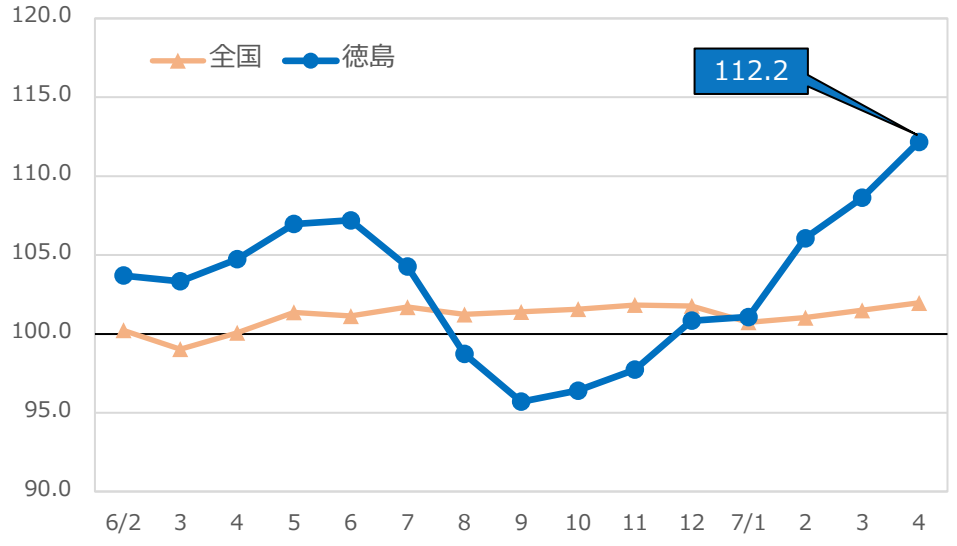
○金属製品は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

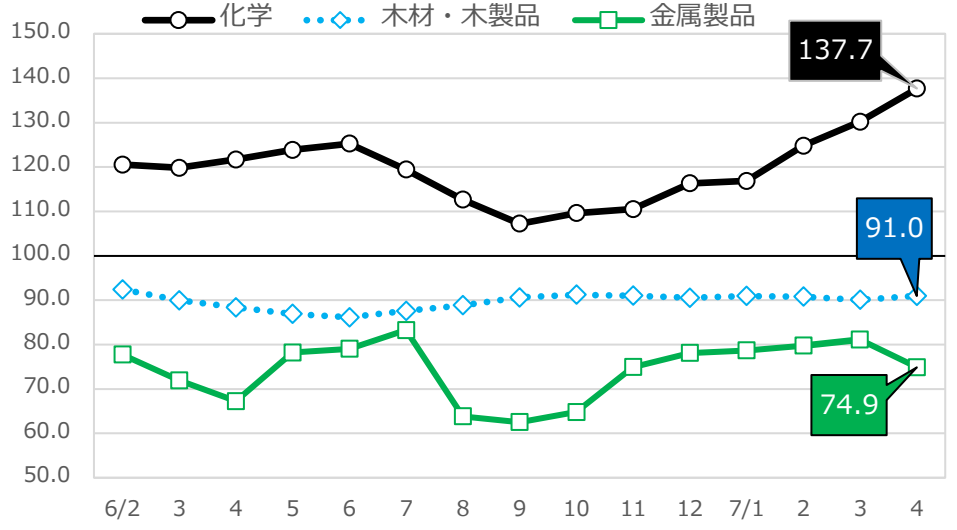
«化学»
○医薬品の需要が国内外ともに好調。米国の通商政策への対応として、一部製品の米国向け生産量が増加。

«木材・木製品»
○全国的な戸建て住宅需要が低調であることに加え、建築基準法改正による建築コストの増加も懸念される。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年＝100)〕



【出所】経済産業省、徳島県の公表データから算出



【出所】徳島県の公表データから算出

生産活動

○はん用・生産用・業務用機械は、緩やかに持ち直している。

○電気機械は、足踏みの状況にある。

○パルプ・紙・紙加工品は、緩やかに持ち直しつつある。

○食料品・飲料・飼料は、緩やかに持ち直しつつある。

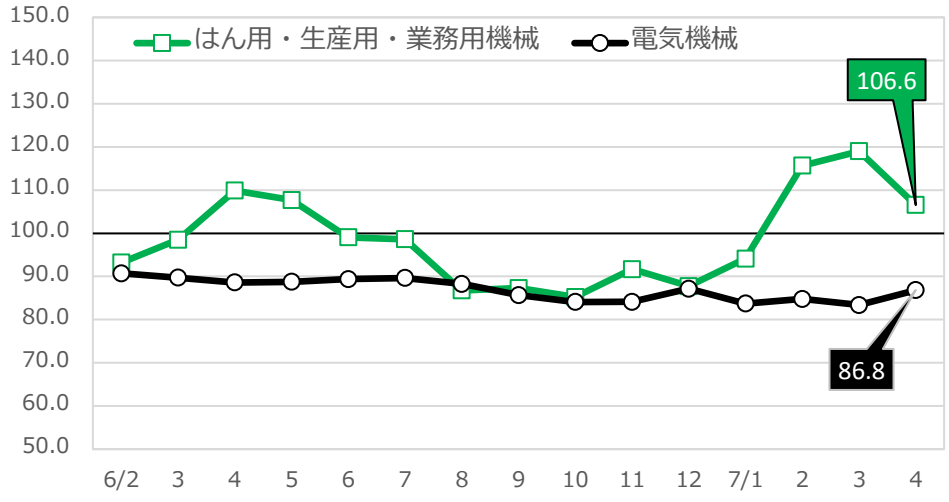
〔主なヒアリング結果〕

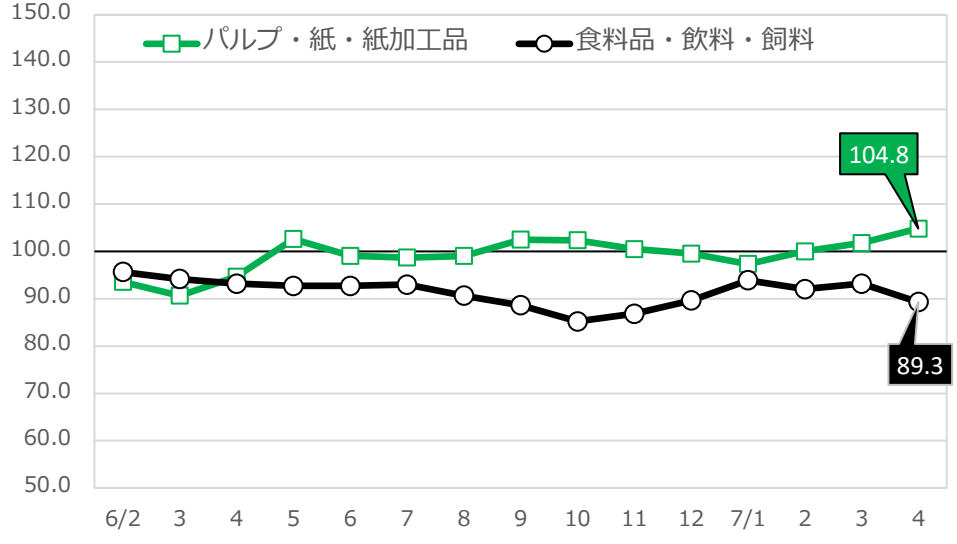
«はん用・生産用・業務用機械»
○生産用機械の受注状況は国内外ともに好調を維持。

«電気機械»
○電子機器向けの需要は横ばい圏内の動きである。

«食料品・飲料・飼料»
○人手不足により工場の稼働率が低下しているものの、需要は堅調である。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年＝100)〕





【出所】徳島県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢
緩やかに持ち直しつつある

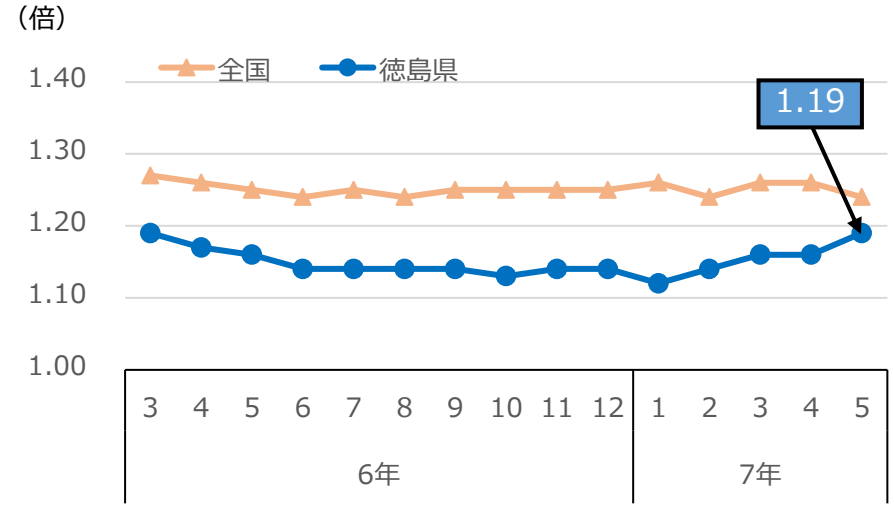
○有効求人倍率は、概ね横ばいの状況である。

○新規求人数は、前年同期（３－５月）を上回っている。

〔主なヒアリング結果〕

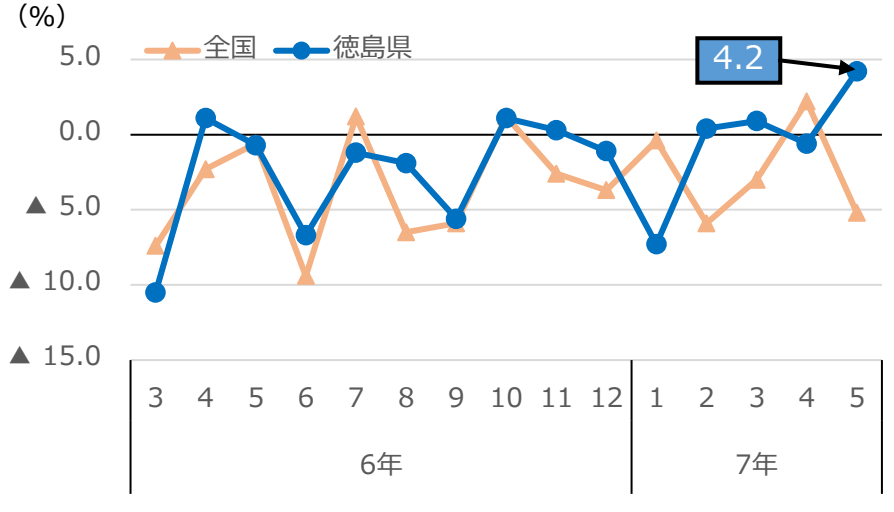
○米国の通商政策による雇用への影響は、現時点ではあまりみられていない。しかし、一部の自動車関連事業者で受注停止があるなど、今後の求人への影響が懸念される。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



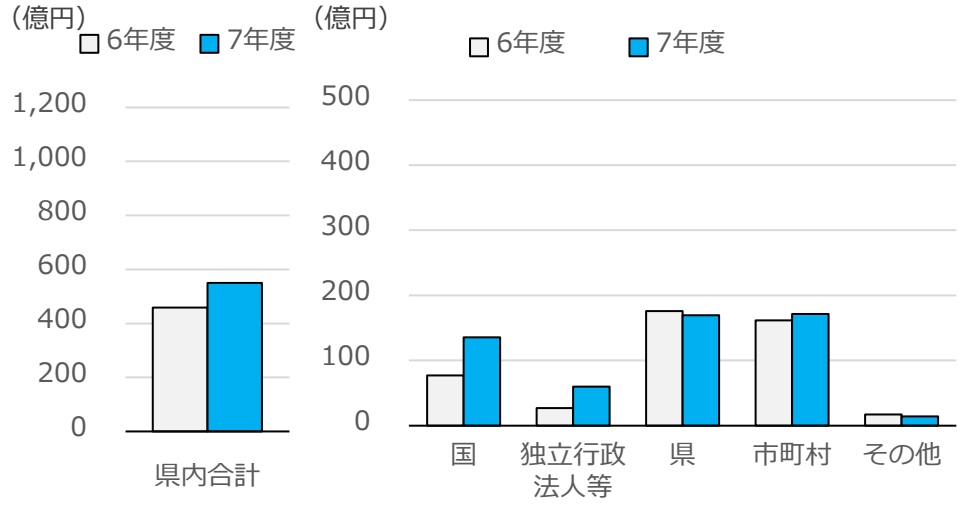
【出所】厚生労働省の公表データから算出

公共事業・住宅建設

公共事業
前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、県で前年度を下回っているものの、国、独立行政法人等及び市町村で前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔徳島県の公共工事前払金保証請負金額（６月累計額）〕

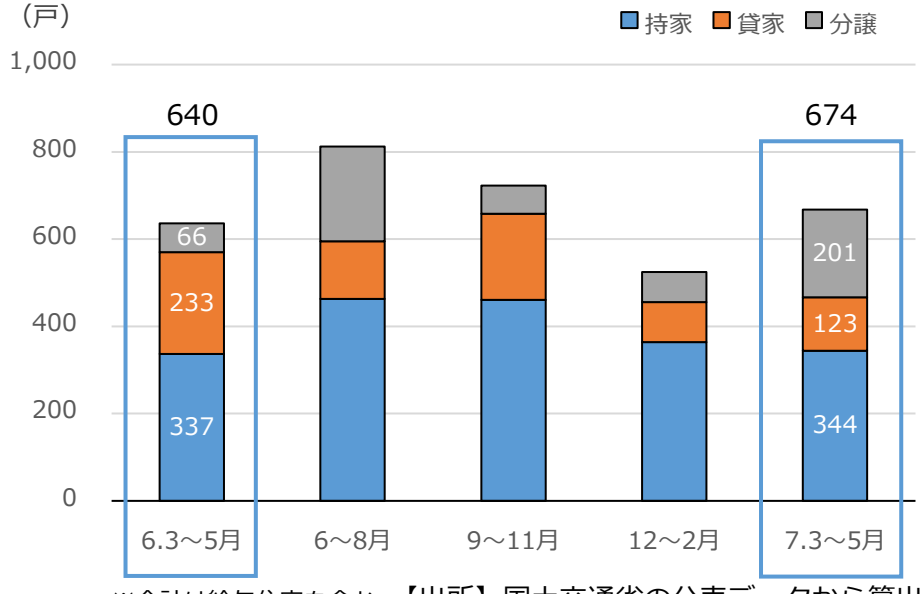


【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設
前年を上回っている

○新設住宅着工戸数でみると、貸家で前年を下回っているものの、持家、分譲で前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。

〔徳島県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む　【出所】国土交通省の公表データから算出

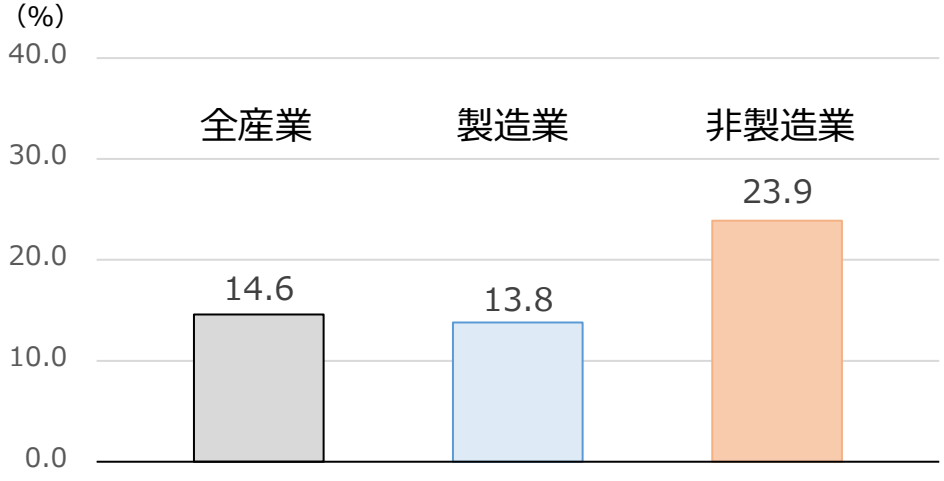
設備投資・企業倒産・消費者物価

設備投資
7年度は前年度を上回る見込み

企業倒産
件数、負債総額ともに前年を上回っている

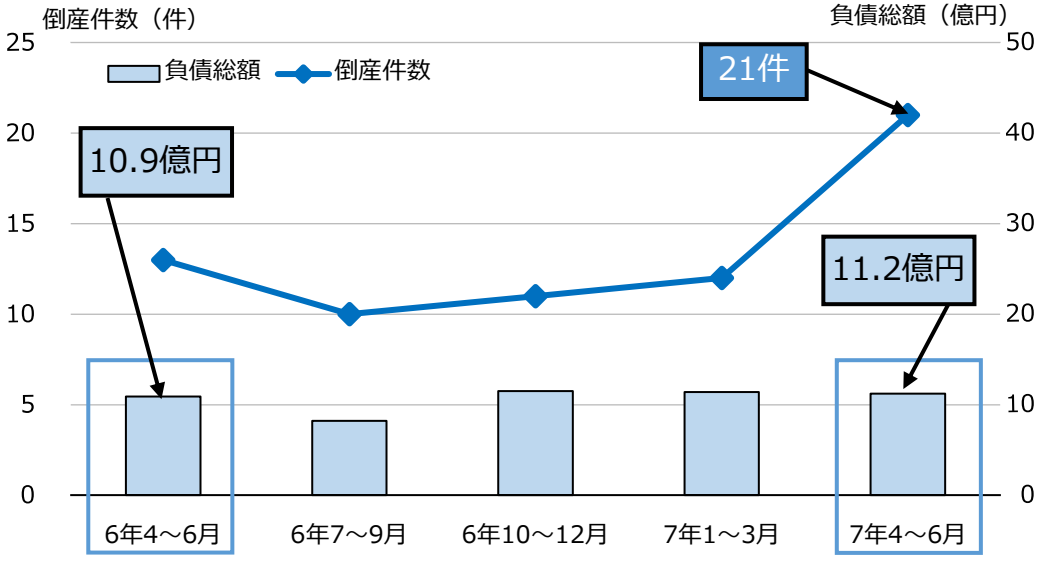
消費者物価
前年を上回っている

〔徳島県の設備投資（前年度比）〕



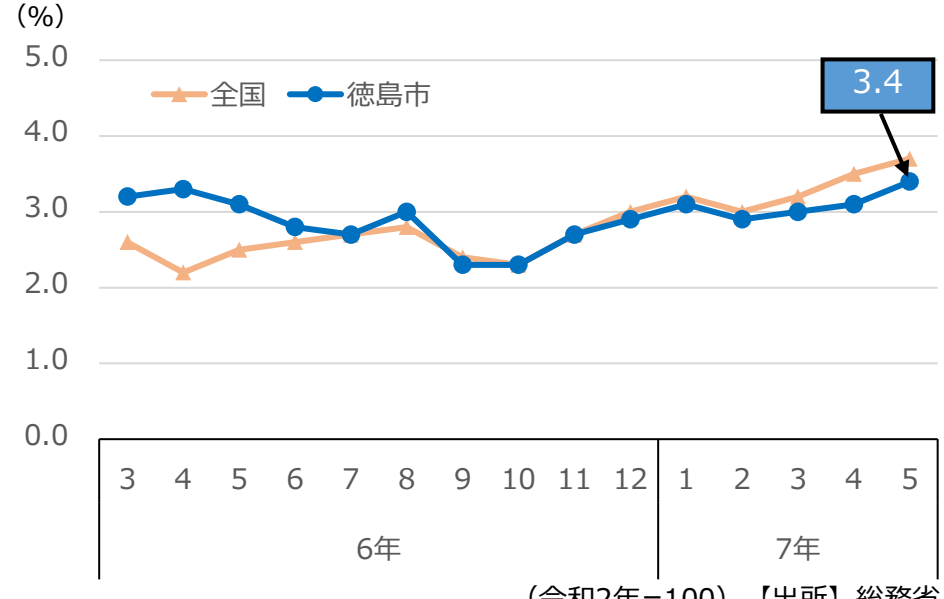
※7年4～６月期調査の結果
※ソフトウェア含む、土地除く　【出所】徳島財務事務所（法人企業景気予測調査）

〔徳島県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



（令和2年=100）【出所】総務省

●お問い合わせは

ＴＥＬ　（０８８）６２２－５１８１　　総務課（内線２０１）　又は
財務課（内線２１０）　へ

徳島財務事務所
https://lfb.mof.go.jp/shikoku/tokushima/index.html

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。